



口を



曲す人

人は誰でも、生まれた時から人間を観察したり状況を観察したりして、何でも自分でやりたがるし、どうすれば良いのか考えて、様々な対応をしていますよね。



No.2



しかし、我が子が可愛いからと言って、まだ幼いからと言って、失敗をしないように、我が子に何もやらせないようにしてしまえば、何も学べ無いので、成長が止まってしまうと思いませんか？

何でも口うるさく手や口を出す親や家族がひとりでも居れば、その子供は考える事も、練習する事も出来ないので、思考が発達しないし、自分では何も出来ない人になってしまうと思いませんか？簡単に言えば、過保護過ぎて、我が子を**無能**にしてしまいますよね。



No.3



無能な子供ほど、**知能や思考が発達していない**ので、常に、自分より弱い相手を探し、いじめや虐待、恫喝やカツアゲ、レイプや売春、爆音で走る暴走行為やおおり運転、万引きや泥棒などの**迷惑行為**や**犯罪行為**をする人になる人が多いですよね。（世の中を見れば、迷惑行為や犯罪行為をやっている人が、数え切れないほど居るので、我が子も迷惑な人や犯罪者になる可能性が高いですよね）

それに、**我が子が学べない子供**なら、思考が発達していないので、何故必要なのか理解が出来ないので、何度注意しても人の話は聞かないし、他の人から学ばないので、**同じ失敗を繰り返すだけだし**、何度も叱られたり怒られたりしても、殴られても、口が酸っぱくなるほど注意をされても「**蛙の面に小便**」だと、思いませんか？



No.4



例えば、毎年毎年、何度注意をしても夏休みの宿題をやらずに、登校日近くになって**慌てる子供**やどうしようもなくなって、**泣き叫ぶ子供**も居ますよね。親や誰かが宿題を手伝ってしまえば、毎年、**同じ事の繰り返し**になる場合が多いですよね。我が子は**何も学んで居ない人**、自分では**何も学べない人の証拠**ですよね。

自分が困らなければ、辛くならなければ、自分でやらなければ、駄目だと気が付くまで、人は考えないし学ばないので、本人が困るまで待つしかないし、学ぶようになっても本人が望まない限り、口出し手出しは無用ですよね



No.5



考えてみれば、失敗の数が多ければ多いほど、様々なデータが集まるし、比較しながら分析が出来るようになるので、出来る方法を試行錯誤をしながら探せる人に、問題を解決出来る人になれると思いませんか？

それに、自分ひとりで学べる子供なら、常に注意深く観察し、脳内で自分はどうするべきかと、シミュレーションをしているので、絶えず目や視線が動いているので、学べる子供だと分かるので、口出し、手出しは邪魔だし、無用だと思いませんか？



No.6



それに、我が子が失敗したり挫折をしたりすれば何故失敗したの？ どうすれば良かった？ 失敗した人の気持ちは？ 挫折した人の気持ちは？ 対策の方法は？ 対応の仕方は？ 解決出来る方法は？ などと、多くの事が学べますよね。

出来ない方法や駄目な方法、解決出来る方法や出来る方法など、数多くの事が学べるようになれば、人の失敗を責める人ではなく、暖かく見守れる人になれるかも知れないし、様々なアドバイスが出来る人に、成長が出来る人に、なれるかも知れませんよね。



ですから、学べる子供なら、口出し手出しをするのではなく、どう思う？どうする？どう考えたの？判断をした基準は？どうすれば良いと思う？対策は？何が学べた？何が学べる？などと質問し、我が子と一緒に思考を鍛えてみてはいかがでしょうか？

しかし、**学べる子供**であっても、その子供の**知能レベルが低い人**なら、どうやってサボるのか、楽が出来るのか、得が出来るのかと、**ずる賢い事を考えている子も居るので、子供の考え方を時々聞いて確かめ、考え方を修正した方が良い**ですよ。



No.8



考えてみて下さい。常に何でも知ったかぶりして、何でも口出し手出しをする人が居ますが、自分がやられたらどうでしょうか。「**それ知っているよ**」とか「**うるせえな**」とか「**今、考えているんだから静かにしろよ**」とか「**今、やろうとしてたのに**」とか「**大きなお世話だ**」とか思いませんか？

学べない子供に育てるのか、自分で学べる子供に育てるのかは、**親や家族の子育てひとつで変わります**よね。我が子と一緒にどうすればいいのか、考えてみてはいかががでしょう



No.9

それに、うるさく口出す人ほど、我が子や他の人からも嫌われる人が多いので、孤独な人生になる人が多いですよね。自分が嫌われないように、我が子や相手の立場で、視点で考えてみてはいかががでしょうか？**我が子の自主性を、思考能力を大事にしたい**ですよね。

口を出す人



2025.02.19



みなかみ源の解説

© みなかみ源事務所